

調査研究報告書の要約

分類・テーマ別	B・1		分類・業種別	8・1	
書名	平成 15 年度近畿地域の機械情報産業における国際競争力強化事例調査 - 機械情報産業の事業環境整備基礎調査 - 地域機械情報産業の事業活動推進に関する調査				
発行機関名	社団法人 日本機械工業連合会				
発行年	H16(2004)	頁数	140 頁	識別	15 事業環境・ 地域産業

目次

- 第 1 章 機械情報産業をめぐる内外の環境変化と課題
- 第 2 章 調査事例からみた国際競争力強化に向けた取り組みの状況
- 2 - 1 技術・製品の開発
- 2 - 2 生産活動
- 2 - 3 マーケティング活動
- 2 - 4 人材の育成・活用
- 2 - 5 機械情報産業における国際競争力強化の力点
- 第 3 章 国際競争力強化への取り組み事例
(30 企業の取り組みを紹介)

要約

近畿地域の機械情報産業は、対 1998 年の全国平均伸び率と比較して、成長は伸び悩んでおり、又、出荷額の伸び率が GDP の伸び率以上の品目は、50%を割っている状況にある。このことは資本財的な品目が比較的多くかつ、成熟した品目が多いことが伺える。そして、貿易における比較優位性は近年低下してきており、高付加価値な製品の創出、そして国際競争力の強化が強く求められている。このような状況下にあって、中堅・中小企業のなかには多品種少量生産など経営資源を最大限活用し、選択と集中を図りながら新製品開発、製造工程やシステム改革により、国内及び世界市場で高いマーケットシェアを維持し、国際競争力を強化・維持しつつ業績を上げている企業もある。

本調査では、国際競争力強化成功企業 24 企業について企業が確保すべき国際競争力について 技術・製品の開発例 高い品質とコスト対応を実現する生産技術の高度化策 顧客基盤拡大につながるマーケティング活動 事業活動の基盤をなす人材の育成活用等といった競争力強化の観点から企業のヒヤリング調査を行い、機械産業あるいはモノづくりの企業経営者が経営戦略策定の際の指針となるよう成功要因を分析するとともに、成功事例として各企業の国際競争力強化にあたっての対応等具体的に紹介し、参考に供している。



この事業は、オートレースの補助金を受けて実施したものです